

Altium Designerの新機能とメリット

Altium Designerの最新版winter 09は、エレクトロニクス設計者が次世代のエレクトロニクス製品を開発するのに役立つ新機能と機能強化を提供します。

新しい機能	メリット	詳細
新しいインタラクティブ配線機能	より高速で正確なボード配線による全体的なボード設計時間の削減、ユーザー体感と生産性の向上。	Altium Designerには、ピンスワップ、インタラクティブ差動ペア配線、インタラクティブ マルチトレース (バス) 配線、およびドラッグ操作中の障害物回避に基づいたインタラクティブ配線に求められる全く新しい機能があります。
強化されたPCBモデリング	強化された2Dおよび3D PCBモデルのビジュアルプレゼンテーションにより、向上し続ける製造技術に対応。	表面仕上げはコンポーネントと基板の双方に対して、より現実的にレンダリングされています。発見されたエラーは設計を「見る」だけで簡単に特定し修正できます。
ビアのフルスタックアップの定義	ビア形状が各信号レイヤ別に異なるサイズ設定が可能となりました。高密度トレースをサポートし、製造技術を維持します。	新しいコントロールでは、直径をサイズ、あるいは形状モードを指定して編集できます。
PCBグラフィックシステムのアップグレード	パフォーマンスと効率が、メモリーのオーバーヘッドを低く抑え、さらにメモリーリソースのメリットをフルに活用する新しいグラフィックエンジンによって改善されました。	Altium Designerの最新のグラフィックエンジンは、メインシステムメモリーの使用を低減し、バス間のデータ伝送とCPUプロセスのレスポンスを改善しています。アルティウムは最も一般的なグラフィックカードについて自社のベンチマークを公開しました - ユーザーはニーズと予算に合わせて最適な選択ができます。
PCB 3D 正射投影法	設計データの編集能力と同様、強化3Dリアリズムの正確なオブジェクトジオメトリ	コンポーネントの正確な位置と、従来表示されなかった詳細を見ることが可能になりました。
FPGAベース仮想計測器のフィールドコンソール	スタンドアロンのカスタムインストールビューアにより、仮想測定器が拡張され、設計段階を超えて利用できるようになりました。Altium Designerをインストールしていない場合でも、無線またはインターネットを使用し、遠隔操作で設計をコントロール、テストできます。	組込み可能なソフトのフロントパネルから、プログラマブルなチップ内部回路の表示やインタラクションが、フィールド内で誰にもできます。設計があるところには常にユーザーインターフェースがあります。
プラグ & プレイソフトウェアプラットフォームビルダ	直感的な操作の新しいエディタによって、設計者は、デスクトップのNanoBoard上で設定したハードウェア環境で、ソフトウェアプラットフォームを簡単に「スナップ」できます。ハードウェアデバイスは、標準サービスセットによって、このアプリケーションコードで利用できるようになります。	プラグ & プレイソフトウェアプラットフォームビルダは、指定されたペリフェラルを検出します。標準ソケットAPIを使って、これらのペリフェラルを使用することで、設計者はソフトウェアモジュールを「プラグイン」できます。 高レベルのサービスには以下が含まれます: メモリカード、IDEドライブ、フラッシュメモリ上のファイルとフォルダへのアクセス用ストレージ、イーサネットアクセス用ネットワーク、POSIX準拠マルチスレッド機能用カーネル、グラフィックインターフェース構築用 GUI、オーディオおよびビデオ機能用マルチメディア。
設計リリースの管理	リリースから生産までの制御された設計データの管理、さらに組織間の管理およびチームのコラボレーションのためのデータ出力機能。	設計リリースマネージャ (Design Release Manager) により、設計者は、リリース時はもちろん、それ以後も、ソースデータを管理できるようになります。設計リリースマネージャは、リリース全体を通じて、プロジェクトの履歴とその相互関係の明確なビジョンを提供します。設計者は、設計がリリースされた時期を確認し、該当のポイントまで戻り、設計を取得、修正、依存関係を更新または修正したうえで再リリースすることができます。
リアルタイムの製造ルールチェック	実際の設計プロセス中および製造用ファイルの作成前に一連の制約がリアルタイムに確認できます。これにより不要な再設計を避けることができ、より迅速に製品を市場に投入できるようになります。	現在製造で必要とされる、ドリル間、ソルダマスクの最小幅、アンテナパターン、パッドへのシルク重なり、シルクとシルクの間隔をチェックするルールが新たに追加されました。 さらに、既存のルールが更新され、最小オブジェクト幅、鋭角パターンがリアルタイムでチェックできるようになりました。
サプライヤへのライブリンク	サプライヤのデータベース (Digi-Keyが最初) は現在、Altium Designerから検索できます。ライブラリのパーツは適合するサプライヤのアイテムからリンクされています。サプライヤのデータは、設計プロセス中や設計のリリース中に、あるいはプロジェクトのコスト計算または調達用の部品表から、いつでも取得できます。	サプライヤのデータはウェブサービスを通じて利用できます。ライブデータの統合は、設計中および設計のリリースの際に何時でも、ライブラリの設計レベルで実施できます。サプライヤのデータは、直接コンポーネントにリンクできます。
図研 Cadstar® インポート	これまでサポートされていた Allegro、DX Designer、OrCAD、PADS、P-CAD および Protel 99 SE に加え、Cadstar が追加されました。従来の設計やライブラリが Altium Designer へ容易に移行できます。	Altium Designer では、Import Wizard が強化され、Cadstar PCB レイアウト、回路図および PCB ライブラリファイルの自動変換やインポートをサポートできるようになりました。

Altium Designerの最新版winter 09 紹介ビデオをご覧ください。 www.altium.com/winter09